

観光・教育・創業などの国際交流・ビッグデータ活用特区

今治市の取組状況

—「しまなみ海道」と「今治新都市」を中核とした
「国際観光・スポーツ拠点」の形成を目指して—

平成28年9月12日

今治市長 菅 良二

① 外国人創業活動促進事業

- ・しまなみ海道をキーワードに広島県との連携（オール広島創業支援ネットワークと連携）
- ・在留資格要件が整っていない場合でも、優れた事業計画を有する外国人の創業活動が可能に！
- ・地の利（広島空港、広島港）を活かしたサイクリングのインバウンド需要のさらなる取り込み

H28.7.29事業開始！

「しまなみ海道」と「今治新都市」を中核とした「国際観光・スポーツ拠点」の形成

② ドローンを活用した実証 （特定実験試験局制度に関する特例）

- ・本市島しょ部での、日常の買い物に困っている高齢者などへの支援策として、日用品や食品の宅配にドローンの活用（物資輸送）を期待
- ・尾道市から本市でのしまなみ海道エリアで技術実証を行い、将来的に実用化・商品化により新産業を創出

H28.秋頃～実証事業開始！

③ 「道の駅」の設置主体の民間への拡大を要望中

- ・しまなみ海道沿線の道の駅は地域の重要な拠点（情報提供機能、地域連携機能、駐車場機能、サイクリストにとってのハブ機能）
- ・民間の資金やノウハウを活かした良質なサービスを提供するため、民間事業者と今治市が協定を締結し、道の駅の設置主体を民間に拡大！

④ 獣医学部の新設を要望中

- ・日本再興戦略改訂2015に基づき、国際教育拠点として今治新都市に「獣医学部」を新設
- ・感染症等に対応した国際的な獣医師を養成
- ・獣医学教育空白地帯「四国」に危機管理発生時の学術支援拠点を！

④ 獣医学部の新設を要望中！

国際動向を踏まえた国家戦略レベルでの獣医師養成系大学の設置・入学定員規制の地域限定解除

獣医学教育空白地域「四国」に大学獣医学部の新設を目指します！

1. 国際対応の可能な獣医師養成

- **これまでの獣医学教育**
 - ・ 伴侶動物の医療、家畜衛生管理が中心
 - ・ 国立大学：研究者養成
 - ・ 私立大学：臨床獣医師養成が中心

- **世界の動向** (アメリカ)
 - ・ 食の安全、バイオテロ等への危機管理対応強化
 - ⇒ 獣医大学3校を新設認可

- **新しい分野へ対応**
 - ・ **公共獣医事を担う第三極の大学獣医学部**
 - ・ 動物由来新興感染症の統御、越境感染症の防衛
 - ・ 食品貿易の安全確保、食料の安定供給、養殖産業振興
 - ・ ライフサイエンス分野（医療、創薬、医療機器・健康食品・機能性食品開発）における連携研究・教育
 - ・ 情報ネットワーク構築、政策監視、疫学調査

- ・ 獣医学教育コアカリキュラム（51科目、19実習）の実施、必要な教員（72名程度）を確保
- ・ 国際対応の資質を有する公衆衛生分野（動物危機管理）の獣医師・指導的人材を養成



大学獣医学部新設イメージ

今治新都市第2地区
(高等教育施設用地)

2. 危機管理発生時の学術支援拠点

家畜の越境国際感染症は、初期対応が極めて重要

- ・ 全国にまん延する前に世界動物保健機関（OIE）が勧告している**地域（ゾーン）での封じ込めが必須**
- ・ 四国の特性に通じた迅速な危機管理の「地（知）の拠点」

